

# 地域の安心・安全を守る！ 消防団員を募集しています

問い合わせ先 総務課 (☎43-7211)

## 地域を支える消防団

消防団は、地域における消防・防災の担い手として、地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を持っています。消防団の活動は消火活動だけでなく、行方不明者の捜索や増水した河川の監視、年末の夜警活動、お祭りの交通整理、火災予防の啓発活動など多岐にわたっています。特に災害が起こった際には、地域を良く知る消防団の存在は、大きな力になります。

しかし少子高齢化により、団員数は減少傾向にあり、このままでは、災害などの救助活動に支障をきたすおそれがあります。まずは消防団について知り、あなたの経験を地域の防災に活かしてみませんか。



地域での土のう作りの訓練



消防大会の様子

## 消防団員に聞く

**きっかけは、地域に根ざした活動をしたという思い**  
地元で太鼓打ちをしているのですが、その活動のチームの一つが、地域に根ざした活動をするので、たくさん地域と関わっていきたいという思いがあり、町内の行事などに積極的に参加する中で、その延長という感覚で入団しました。  
仕事との両立が大変そうというイメージがあるかもしれないと思いますが、僕自身は、日々の生活の負担になったり、プレッシャーになるような感覚はありません。もちろん責任はあるし、頑張らなくてはいけない部分も

## もし隣の家が火事になったら、あなたはどうしますか？

入団して気付いたこと  
入団してから多くのことに気付くことができました。例えば大雨が降って、崩れた所にブルーシートが張ってあることがありますが、それは、深く気に留めること

はありますが、あくまで地域の方々のつながりの中でやっていることなので、そんなに強制的なところはありませぬよ。僕は仕事が土日中心で、参加できないこともありますが、できる範囲で参加させてもらっています。また入団してから、幅広い世代の地域の方との交流が増え、防災だけでなく、地域の交流の場としても、なくてはならないものだと感じています。

## 地域のことは地域で守る

皆さんに考えて欲しいのは、「もし隣の家が火事になったら、どうしますか？」ということなんです。自分の家であれば、自分で消そうとすると思いますが、隣の家に火が入ってしまえば、一般の人が現場に入っても危険なことしかできないと思います。でも消防団に入ったら、何とかしようと思えることができないと思いませんか？  
新しい年を迎えたこの機会に、地域防災のことを考えてみてはどうでしょうか。



たけうちたかし  
竹内孝志さん

平成18年に諸田分団に入団。普段は和太鼓ユニット我龍として、国際的に活躍。

## 教えて！消防団のこと Q & A

- Q. 消防署とどう違うのですか？**  
**A.** 消防署は常勤職員が業務に専念するのに対し、消防団員はそれぞれの仕事をしながら災害時に活動します。
- Q. 待遇などはどうなっているのですか？**  
**A.** 非常勤特別職の地方公務員として、活動費や公務災害補償、退職報償金、入院見舞金、制服貸与、各種表彰制度などがあります。
- Q. 仕事との両立はできますか？**  
**A.** ほとんどの人が両立しています。普段は各自の仕事に従事しながら、参加できる範囲で災害時の活動、平時の訓練、災害予防広報などを行っています。



府中市女性消防団  
さなだかなこ  
真田可奈子さん

私が  
お答えします！

**Q. 災害時にはどんな活動をするのですか？**

**A.** 消火活動や救助活動をはじめ、風水害時は河川水位の警戒や土のう積みなど、さまざまな災害対応をします。

**Q. 府中市の消防団に入るにはどうしたらいいですか？**

**A.** まずは市役所総務課 (☎43-7211) へ問い合わせるか、地域の消防団員にお尋ねください。



**Q. 女性や学生も入団できますか？**

**A.** できます。18歳~60歳まで入団でき、学生の人も歓迎です。女性消防団員は、火災現場などへの出勤はありませんが、防災啓発活動や広報などを担当しています。



紙芝居を使った防火教育



街頭での広報活動